

研修テーマ

No.205 「楽しく学ぼう循環器！心不全患者の理解と看護」

開催日時 令和3年10月29日(金) 10:00~16:30 / 会場 兵庫県看護協会 研修室2

講師紹介

川内 麻里子 先生

西宮渡辺脳卒中心臓リハビリテーション病院 心臓リハビリテーション部門

慢性心不全看護認定看護師であり、県内の心不全認定看護師間の交流を深めた活動もされています。

受講者数

会場受講 24名・ライブ配信受講 49名

研修概要

「循環器疾患についての基礎知識と、心不全患者に携わる上で必要な看護を学び看護実践に活用すること」をねらいに、循環器疾患の動向、基礎知識(解剖/生理)、循環動態とアセスメント、バイタルサイン・症状、検査、心不全のメカニズムと治療、心不全患者の看護について、講義とグループワークを組み合わせ、幅広く学んだ。講師の体験をもとにした事例の紹介は基礎知識を具体化したものとなり、わかりやすかった。

The image contains two main parts. On the left is a slide titled "4-3 呼吸評価/血液ガス" (Respiratory Evaluation/Blood Gas). It includes diagrams of the lungs and heart, and a line graph showing partial pressures of PAO2, PaO2, and PaCO2. Text on the slide includes: "①肺泡低換気・A-aDO2は正常・肺泡換気量が不足⇒PaCO2↑Ⅱ型呼吸不全", "②③④・A-aDO2は拡大・血液中へ酸素取り込みが不足Ⅰ型呼吸不全", "肺泡気酸素分圧: PAO2", "動脈血酸素分圧: PaO2", "肺泡気-動脈血酸素分圧差: A-aDO2", and "A-aDO2の正常範囲は10mmHg以下". On the right is a hand-drawn flowchart titled "事例A氏⑧ (危機の問題解決モデル)" (Case A, Crisis Problem Solving Model). It outlines a process for handling a patient with stress and imbalance, including steps like "ストレスの多い出来事が続くと、危機に陥る可能性が高まる", "社会的支援", "対症療法", and "対症療法が不十分" leading to "危機状態が持続" and "危機へ".

受講者の声

- ・少し内容が難しい部分があったので、復習が必要かと思いました。
- ・幅広い知識を講義して下さったので、よかった。事例も楽しかった。
- ・臨床へ活かしていこうと思うことがたくさんありひとつずつ実践していこうと思いました。
- ・知らなかった知識がたくさんあり、資料もたくさん頂けたため臨床で実施していきたいと思いました。

担当者からコメント

新規研修として実施したが、定員を超過しての申し込みがあり、研修ニーズとして高いことが伺えました。循環器疾患看護は解剖生理や循環動態等、難しさを感じる部分が多く、苦手意識を持つ人も多いと思われるが、基礎知識を丁寧に学ぶことが理解する一歩だと感じました。